

## 年 頭 ご 挨拶

一般社団法人日本産業車両協会

会長 志岐 彰

皆様 明けましておめでとうございます。

平成28年の年頭にあたり、新年のご挨拶を申し上げます。

我が国経済の状況は、好調な企業収益や円安、エネルギー安といった好材料はあるものの、7～9月期のGDPが一度は速報値で2四半期連続のマイナスと発表され、その後プラスに改定されたように、全体として力強さに欠け、日本経済のポテンシャルが十分に発揮されているとはいえない状況です。

こうした状況を受け、政府におかれましては、平成28年度からの法人税の実効税率の引き下げや、民間設備投資の活発化を促す様々な施策導入を行って、今後の成長軌道をさらに力強いものにすべく取り組んでいるところです。

私ども産業車両業界も、昨年の国内生産額は、1～10月までの累計で約2,820億円、前年同期比で7.0%の減少となっており、年間を通して2年ぶりの減少となるものと思われまます。

主力機種フォークリフト出荷台数で見ますと、1～11月までの累計で、国内向けは2.9%増加の一方で、輸出は2.0%減少となっております。

リーマンショック後の世界同時不況で大きく落ち込んだ世界の産業車両市場ですが、その後は中国を中心とする新興国市場が、先進国市場に追いつき追い越せという勢いで拡大し、市場全体を下支えしてきました。しかし昨年は中国の景気減速も影響し、先進国市場が引き続き増加傾向であるのに対して、

中国や南米を中心に新興国市場は減少に転じております。

こうした情勢の下、本会は「産業車両（フォークリフト）産業戦略」に基づき、世界中に産業車両における“日本ブランド”を確立し、世界のナンバー1であり続けるため、様々な事業を進めておりますので、主な取り組みのいくつかをご紹介します。

私どもは、この戦略において、“日本ブランド”を物流の効率化、安全向上、環境負荷の低減に貢献する、信頼性の高い製品、サービスによって生み出すものであると考えております。

まず、安全向上という視点では、今年度は厚生労働省でまとめられたフォークリフトの事故データについて、3年分約2000件を分析し、その結果に基づいて、事故による死傷者を減少させるため、車両における新たな安全機能の開発や普及、お客様への安全な使用方法の啓蒙強化、また政府に安全向上に資する新たな施策導入といったことを提言し、実現することで、安全な日本のフォークリフトという価値を高め、将来はこうした製品や制度等をパッケージとして、世界に輸出していければと考えております。

次に環境負荷の低減に関しましては、来年度中には燃料電池式のフォークリフトが市場投入される見通しであり、また厳しい排出ガス規制をクリアしたクリーンなディーゼル式フォークリフトや、より長時間の稼動を可能とする新型の電気式フォークリフトの普及も進めてまいります。

先月のCOP21で採択されたパリ宣言では、2020年以降の地球温暖化対策の新たな国際枠組みが定められましたので、国内のみならず、世界の市場でもこうした環境負荷低減に役立つ日本ブランド製品を普及してまいります。

また物流の効率化のため、近年話題となっておりますI o Tも活用して、車両の適切な稼働管理やモノだけではなく情報とのやり取りも可能となる機能やソフトウェア、そしてさらには自動化の促進等を進めて、将来の労働人口減少という時代において、労働集約型産業である物流という機能を、より効率的に、そしてより安全かつ低環境負荷で行っていくためのソリューションを生み出してまいります。これにより、いわば産業の血液とも言える物流の高度化に貢献して、日本経済の発展に寄与してまいります。

この自動化という分野では、フォークリフトと並ぶ産業車両の主力製品である無人搬送車は、自動車にはるかに先行して、すでに約50年の歴史を刻みながら、幅広い業界で活用いただいております。最近では工場や倉庫のみならず、ホテルや病院などでも導入され始めており、サービス分野でのロボット市場拡大という日本再興戦略の目標達成にも貢献していきたいと思います。

私どもは現在ISOにおける無人搬送車の安全に関する国際規格の制定審議に参画し、多様な用途や使用環境に対応できる安全規格の策定に協力しており、併せて国内規格JISにおいても国際統合化を進めてまいる予定です。

無人搬送車はすでに私どもの会員企業のものだけでも、累計で約14,000システム、約45,000台が納入されており、その種類も最大荷重100kg以下の小型タイプから、船舶用のコンテナを搬送する巨大なものまで幅広い製品群を有しております。今後も幅広いニーズにお応えして、物流の自動化による生産性向上を実現してまいります。

そして、今年9月に東京ビッグサイトで国際物流総合展2016が開催されます。そこではこれまで申し上げたような最新の製品やサービス、ソリュー

ションが出展される見込みですので、ぜひご来場いただき、私どもの取り組みをご覧いただきたいと思います。

また日本、欧州、アメリカそして中国の産業車両関係団体との協力で、毎年持ち回りで開催しておりますアライアンス業界首脳会議が、今年は日本がホストとなって、国際物流総合展の会期中、お台場で開催される予定です。

今や日本は企業の国別ではフォークリフトの売上げで世界一の存在となっておりますので、ぜひ海外からのお客様にも日本の優れた取り組みをご覧いただく機会としたいと考えております。

以上、私ども協会の活動の一環をご紹介させていただきましたが、最後になりますが、私どもは今後も産業車両業界の発展と世界におけるプレゼンスの向上に努めてまいりますので、会員の皆様のより一層のご支援ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

そして経済産業省、国土交通省、環境省、厚生労働省をはじめとする関係御当局におかれましても、協会の活動に関しまして、よりいっそうのご指導ご支援を賜りますよう、心よりお願い申し上げます。

最後になりますが、皆様のご健勝とご発展を、心より祈念して、年頭のご挨拶とさせていただきます。